

5月25日：国内勢の買いを受け、ベトナム株は上昇

国内勢の買いを受け、火曜日のベトナム株式市場は上昇。その一方で外国人投資家は引き続きマーケットで売り越した。

ホーチミン市場のVN指数は0.82%（10.6ポイント）高の1,308.58ポイントで引けた。同指数は朝方、取引開始後の30分間1,300ポイントの節目を超えた。

騰落別では212銘柄が上昇、193銘柄が下落した。60銘柄は変わらずだった。

前日に比べ出来高は減少したが、国内投資家は21兆2,000億ドン以上（約6億7,910万株）を買い入れた。

「もし同指数が1,285ポイントを上抜けるなら、短期的に1,350～1,380ポイントの上値抵抗線を目指す可能性がある」と予想する」（バオベト証券の株式シニアアナリスト Tran Xuan Bach氏）

「マーケットそして銘柄への好材料は乏しいため、マーケットでは引き続き銘柄選別が行われ、市場の方向性は一部の大型銘柄に左右されるだろう」（同氏）

「投資家は引き続き自身のポートフォリオのうち30～45%を株式に割り当て、中長期的に保有するのが良い」（同氏）

マーケットは一部、大型株からの支援を受けている。VN30指数は0.95%高の1,444.01ポイントだった。同指数採用銘柄のうち、18銘柄は上昇、8銘柄のみ下落した。4銘柄は変わらずだった。

銀行、素材セクターはマーケットの上昇を牽引し、ベトコムバンク（VCB）は+2.46%と最も上昇した。

軍隊商業銀行（MBB）、シーバンク（SSB）、ベトナム投資開発銀行（BID）もそれぞれ1.5%を超える上昇となった。中でもシーバンクは+7%とストップ高をつけた。

素材セクターではホアファットグループ（HPG）、サイゴンビール・アルコール飲料（SAB）がそれぞれ2.6%を超える上昇。

（原油の）国際価格の上昇によって値上がりした石油ガス関連株は、マーケット上昇の追い風となった。具体的にはペトロベトナムガス（GAS）+1.1%、ペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）+3.65%、ペトロベトナム・ドリリング（PVD）+2.49%とそれぞれ上昇した。

ハノイ市場では途中軟調だった HNX 指数が午後の取引で朝方の水準に株価を戻した。

大型株の上昇に支えられた同指数は0.42%高の301.59ポイントで取引を終えた。

売買高は1億3,110万株で、売買代金は約3兆ドンだった。

外国人投資家は両市場（ホーチミン・ハノイ市場）で合わせて1,144億6,000万ドンを売り越した。

そのうち、ホーチミン市場では863億ドンを、ハノイ市場では281億6,000万ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。